

日 刊	新 東 京	NO 3353	2004年 8月 2日 (月)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

# 勤務時間実態調査結果を考える

## 郵便窓口分会

郵便窓口分会は窓口業務に携わる組合員に緊急に勤務時間の実態調査を行いました。

職場は物量が増える中、欠員補充もない慢性的な人手不足の上に、最近では病欠者の続出で稼働が出ない混乱状態にあります。今、何か手を打たなければ取り返しのつかない事態に陥ることは必至です。この勤務時間実態調査結果をふまえ、現時点での問題を掘り起こしていきたいと考えます。

### \*休憩・休息はきちんと取っていますか？

1 取っている(0%)      2 取っていない(100%)

勤務別に見ると、日勤(含調日)・中勤・夜勤(含調夜)と答えた人56.2%

全勤務と答えた人43.7%

時間を見ると、15分以内(12.5%)    30分以内(25%)    45分以内(31.2%)

60分以内(6.2%)    60分以上(25%)

### \*深夜勤は定時で上がれますか？

1 上がれる(0%)    2 上がれない時もある(81.2%)    3 常に上がれない(18.7%)

時間を見ると、15分以内(25%)    30分以内(56.2%)    60分以内(18.7%)

### \*二月の新勤務導入後、サービス残業をしたことがありますか？

1 ある(93.7%)      2 ない(6.2%)

時間を見ると、15分以内(6.7%)      30分以内(40%)

60分以内(26.6%)      60分以上(26.6%)

回数を見ると、1~5回(20%)      6~10回(40%)

11~19回(26.6%)      20回以上(13.3%)



\*裏面へ続きます！

\* 休憩・休息が取れなかったり定時で上がれない理由はなんだと思いますか？

最も意見が多かったのは「サービス表が窓口業務の実情に合っていない」

「要員配置が足りない」。次いで「一人のこなす仕事量が多い」「業務が分散化されすぎている」と続く。

他にも「雑用が多い」「窓口だから当たり前(仕方がない)」という風潮があるなど。

\* 窓口課の問題点 については多くの意見をいただきました

\* 人が常に足りない(分担に空きが多い)。

\* 年休が取れない。

\* 超勤が多すぎる(日勤は毎日)。

\* 計年がずらされることがある。

\* 窓口引受・交付の応援が欲しい。

\* 要員配置が少ないので夜間私書箱に来客があったり、早朝窓口に来客があったりすると本来の業務に支障をきたしてしまい、結果的に休憩を取れなかったり定時で上がれなかったりする。

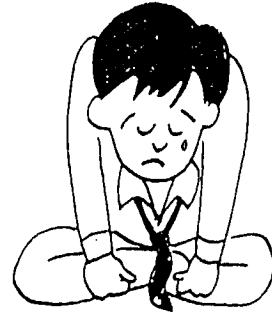
\* 執行役員を配置して欲しい。

\* 役職者等は忙しい中でもゆうメイトや職員に声をかけ定時に上がらせて欲しい。

\* 副課長は窓口業務の把握ができていない。

\* 副課長はせめて窓口での簡単な引受業務くらいは覚えて欲しい(6:00~8:30の職員が窓口不在の時など)。

\* 電内室の引継ぎが不十分(深1明け~日2始まりの三時間が空白。誰もいない)。



\* 総括

結局のところ問題の本質は要員にあります。たとえば、翌配のかかった大口の配達記録処理では総括についた総務主任や代理は定時では絶対に上がりません。

また、特別料金の設定で大幅に安くなった冊子が大量に持ち込まれ、異重量等もあることから引受検査に時間がかかるようになりました。この間、物は増えても窓口課ができてから増員はおろか欠員の補充さえ全くされていません(集荷は別ですが)。

さらに長期の病欠者の発生で、ある総務主任は解放日なしの4連ちゃん深夜勤をやらざるを得ませんでした。今の要員では綱渡り的としか言いようがなく、要員の補充がない限り毎日のように超勤や勤務変更があり、年休も取れることはないでしょう。とにかく、業務に見合った要員を配置するか、今の要員で続けるなら業務を根本から変更するか(業務の移管等)、そのどちらかしかないと思われます。今の現状が質の高いサービスをお客様に提供しているとはとても思われません。JPS花盛りですが、要員の適正配置こそが正しいJPSではないでしょうか。

日 刊	新東京	NO 3356	2004年8月5日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 郵政民営化議論の動向について

1. 政府の経済財政諮問委員会が7月21日に約1ヶ月ぶりに開催され、9月中旬に想定される最終とりまとめに向けた議論が再スタートした。第20回参院選で敗退した小泉首相としては、構造改革の本丸である「郵政民営化」で不退転の決意を示し、9月に予定される内閣改造人事と合わせて政権再浮上を狙ってくるのが想定されている。
2. 経済財政諮問会議での郵政民営化論については、民営化準備室から過去4回の「有識者会議」の概要が報告されているが、今後ビジネスモデルのあり方を諮問会議に報告したいとの考え方が示されたにとどまっている。したがって、経済財政諮問間会議での本格的な議論は次回以降からとなっており、8月一杯まで集中審議、9月中旬には基本方針をとりまとめのスケジュールで進められている。
3. 一方、自民党内も参院選の責任問題、内閣改造人事とも絡みながら郵政民営化議論が大きな焦点となっている。郵政特命委員会（村井仁委員長）は、これまでの各界のヒヤリングも踏まえて8月に本格的審議に入り、地方公聴会と併行しながらとりまとめに入る段取りとなっている。また、総務部会・郵政政策小委員会（川崎二郎委員長）も独自の動きをみせている。こうした政府与党間の動向のなかで細田官房長官は「政府内で具体案の骨子を決めながら与党とのすりあわせを8月に行いたい」と述べ、自民党との調整を行う考え方を示している。
4. このように郵政民営化の去就は、この8月、9月がおおきな山場であり、JPU本部も「労組協議会」を軸としながら各種対策に全力を挙げることにしている。

日 刊	<b>新 東 京</b>	NO 3359	2004年8月10日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

# 配達記録郵便物の取扱方法の変更について

現在、配達記録郵便物は特殊室外で作業を行い、無証扱いロールパレットに積載しているが、カードなど個人情報を含む郵便物が多く差し出されているため事故防止の観点から取り扱い方法を変更し、特殊室内で作業を行い封かんした輸送容器を使用するとしている。

## <実施内容>

- ① 特殊室内で処理・保管を行う
- ② 有証の輸送容器を使用

書留と合納で大郵袋に納入封かん、有証ロールパレットに積載して『通常有証大郵袋等送付証』に個数を記載

## <実施局>

郵便局全局（ただし簡易郵便局を除く）

## <実施日>

準備出来次第実施し、遅くとも8月30日（月）までに全局実施

---

## 青年部主催 バーベキュー大会参加者募集中！！

日 時 2004年8月29日  
11:00～15:00  
場 所 若洲海浜公園キャンプ場  
会 費 1000円（20歳以上）

## 新東京

NO 3360

2004年  
8月11日(木)日本郵政公社  
労働組合  
新東京支部  
編集委員会03-5690-2847  
内線 4163

## 郵便局フェスタ

## 「 に行ってきたました 」

8月7日、中野サンプラザに於いて「郵便局フェスタ in TOKYO」が開催されました。「郵便局の未来と私達の生活」と題して、講演やシンポジウムが開かれました。第1部の基調講演では、俳優であり日本野鳥の会会長でもある柳生博氏から、「地域社会と郵便局の役割」というテーマで自然と生き物の関わりや、長年環境を題材にしたテレビ番組に携わってきた観点から、日本人の魂の置き場所は「里山」にあるなど貴重な体

験談を聞くことができました。そんな中で地域社会に密着した郵便局の存在の大きさなども紹介されました。第2部のシンポジウムでは、各分野から識者を招いて、パネルディスカッションが開催され、国民生活のインフラとして欠かせない郵便局の重要性が更に高まっている事、公社化して柔軟なサービスの展開を求める意見などが数多く出されました。また、いまなぜ民営化の議論なのか。国民・利用者立場に立った議論には到底

なっていない等の発言がありました。その際紹介された、意識調査結果にも、民営化の意味がわからないという意見が多かったのも印象深いものでした。第3部ではアトラクションとして、立川談志さんや寺本建雄さんなどが登場し短い時間でしたが、楽しい一時を過ごしました。当日は、土曜日の午後ということもあり、子供連れの参加者も多く和やかな雰囲気のあるイベントでした。最後に第1部で登場した、柳生博氏が、ぜひ地方でもこのような企画を実現して下さいというお願いが実現されればと思つた一日でした。

〈 投稿 〉

日刊紙は12日から16日までお盆休みのため休刊になります。ご了承下さい。

16日〜20日まで支部大会オルグ開催。ぜひ参加を！

日 刊	新東京	NO 3360	2004年8月16日(月)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 第15回定期支部大会の議案を読む①

### 二〇〇四年度活動方針(案)

#### I 提案にあたって

(1) 私たちは、二〇〇四年六月二十三日に開催した第五十九回定期全国大会から「日本郵政公社労働組合(JPU)」として新たな歴史を歩みはじめました。私たちの事業と雇用、労働条件は、時代が激しいスピードで大きく変化(変革)する渦中にあります。JPUは、郵政労働運動の責任組合として、新たな組織づくりと組織運営の見直し(財政改革)に挑戦します。名称を変更しても、組合員の雇用と労働条件を守るという労働組合の本来の任務は変わりません。全国の仲間と力を合わせて、JPU新東京郵便局支部の未来づくりをスタートさせます。

(2) 私たちが働く郵政公社をとりまく環境は、ますます厳しい状況にあります。郵政民営化問題は、九月中には経済財政諮問会議(議長:小泉首相)の「最終報告」、郵政民営化の特命大臣任命、明年の通常国会への法案提出・審議などが今後の政治スケジュールとして、想定されています。JPUは、全日本郵政労働組合(全郵政)と共同して設立した「労組政策協議会」を軸に部内の力を結集し、民営化問題への対応に万全を期すこととしています。国民の共有財産である郵政事業と雇用を守るとりくみの決意を固めるときです。

(3) 公社の経営状況が、私たちの雇用と労働条件に直結する現実を考えたとき、健全な事業基盤の確立が求められます。とりわけ、東京郵便の要である新東京局の果たす役割と責任は極めて重大です。「安定した業務運行と品質管理」は、生命線です。自らの雇用と職場、労働条件を確保するために、実際の仕事を通じた積極的な提言を行い、その実現を目指すとりくみを強化します。

(4) JPUとして初めての開催となる「第十五回定期支部大会」では、改めて運動の基軸は、支部・分会(職場)にあることを再確認し、支部・分会機能と活動の活性化に全力をあげる意識統一をはかります。組織の活性化は、組織の拡大と表裏一体です。事業と雇用のま

ウラハ

さに正念場にある今、私たちJPUとともに歩む仲間の結集を力強く呼びかける組織拡大に全力でとります。運動の基本である「皆が集まり」「共に語り合い」「決めたことは皆で実践する」ということを大切にしたいと考えます。支部執行委員会は、この間の組合員の皆さんの理解と協力に、心より感謝します。来る八月二十三日(月)に開催する「JPU新東京支部第十五回定期大会」に向けて、組合員の皆さんの積極的な討議参加と運動への協力を要請します。

## 支部大会オルグに 参加しよう!

①日勤	11:00～	【2・3研修室】
②日勤	11:50～	
	12:10～	【5F研修室】
③日勤・中勤	12:30～	
	12:40～	
	12:45～	【2・3研修室】
④中勤	13:00～	
	13:10～	【5F研修室】
⑤夜勤	16:45～	
	16:50～	【2・3研修室】
⑥夜勤	17:15～	【第1研修室】
⑦夜勤・深夜勤	17:45～	【2・3研修室】

注1、今回のオルグは時間・会場が複雑  
ですので、支部・分会役員に詳しく  
確認して下さい。

注2、弁当・お茶が用意してありますので、  
忘れないで参加しましょう。

注3、共通・計画・計理のオルグは20日  
(金)12:00～、5F研修室です。

日 刊	新 東 京	NO 3361	2004年 8月17日(火)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 第15回定期支部大会の議案を読む②

### Ⅱ 主要な活動課題

#### 一 雇用と労働条件の維持・改善

(1) 郵政民営化問題について、政府の「誰のための」「何のための」民営化なのか、目的や理念を示すこともない「民営化ありき」の議論には、到底承服できません。第五十九回定期全国大会では、小泉内閣の郵政民営化政策に反対する「特別決議」を採択し、あらゆる事態に即応できる態勢づくりと「労組政策協議会」をベースにした共同行動を追求していくことを決定しました。七月の参議院選挙では、私たちの推薦候補の当選を果たすことができましたが、小泉政権は、継続しています。上部機関の指導に基づき、情勢や政治動向の認識をしっかりと一致させるとりくみを展開します。

(2) 「勤務時間等の見直し」施策が実施されましたが、労働条件の引き下げにどのように歯止めや具体的運用面での条件等を確保するのか、上部機関と連携をはかりつつ、支部・分会が一体となって、対応してきました。実施日直前のギリギリの段階での支部交渉整理となる等、たいへんに厳しいとりくみとなりました。支部では実施三ヵ月後に、サービス改善・見直しを実施してきましたが、不十分な職場が多いと判断しています。中央段階でも、実施後六ヵ月程度経過後の労働条件・処遇・業務運行・品質管理等の状況を把握し、改善を求めていくことになっています。支部としては、「夜間交替制労働と健康問題」に強い問題意識を持っています。働きがいと健康面への影響等を十分に考慮して、①「夜間特別勤務手当の連続加算」支給要件緩和策の検討、②回数や超過勤務のあり方の見直し、③郵便時短の検討と実現、④深夜労働に従事する非常勤の処遇改善、など、引き下げた労働条件は、回復させていくとの決意を込めた改善のとりくみに全力をあげます。

(3) 綱渡り状態にある業務運行の現状について、各種効率化施策の影響等を検証し改善を求めるとりくみを強化していきます。支部・分会の業対活動を活性化させて、仕事を通じた事業政策づくり、具体的な業務に対する提言、要求を提起していくこととします。

うらへ↓



(4) 郵政公社の発足初年度である平成十五年度の決算概要では、三事業とも黒字となっています。しかし、郵便事業は二六三億円の当期利益を出したものの、収入は予定より六百億円の減収であり、人件費や運送費など調達経費の大幅なコストダウンによる支出削減の結果であり、構造的な赤字体質から脱却したとは言えない状況です。収入減を補うコスト削減にも限界があり、増収・増益に向けた事業基盤の確立が求められています。公社は経営基盤強化に向けて「郵便ネットワークの再構築」などを検討しています。私たちの職場がどのような影響を受けることになるのか、具体的内容の早期引き出しと検討を深めていくこととします。

■ 公社が検討している「郵便ネットワークの再構築」(案)

- ① 地域区分局の配置見直し…同一県内に複数の地域区分局があることによって送達速度がダウンしている場合、統合し、スピードアップを実現。
- ② 結節局の整備…荷量がまとまらず直行便の設定ができない地域は、新東京局・新大阪局等に中継することなく、バイパスの地域区分局(結節局)を経由させることで翌配へ。結節局から直行便を設定し、1~2Hのスピードアップと局舎狭隘解消が可能。
- ③ ダブルネットワーク化…数県分の小包の地域区分事務を行う小包区分局(仮称)を設置。

(5) 「公平・公正性、透明性、納得性、客観性」に基づく新たな人事制度・給与制度が出発しました。新しい制度の理解と浸透は、まだまだ不十分な実態です。組合員一人ひとりに大きな影響があるものとなっていますが、人事評価は評価することが目的ではなく、人材育成が大切な目的です。しかし、フィードバックも、評価結果の伝達に終わっているとすれば、是正を求めていかなければなりません。旧来の管理者意識から抜け切れない現場管理者が職場にはまだまだ存在します。職員対話の充実や業務に責任ある発言を、目に見える形でされるよう、現場管理者の意識改革を強く求めていきます。

---

## 青年部主催 バーベキュー大会参加者募集中!

日 時 2004年8月29日  
11:00~15:00  
場 所 若洲海浜公園キャンプ場  
会 費 1000円(20歳以上)

---

日 刊	新東京	NO 3362	2004年 8月/8日 W/O
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 第15回定期支部大会の議案を読む③

### Ⅱ 主要な活動課題

#### 二 組織拡大・活性化のとりくみ

(1)この間の新規採用ストップ、厳しい効率化による減員、定年・効率化勧奨退職などによって、支部組織人数・組織率ともに低下しています。「数」にこだわる組織拡大が重要です。各職場には数名でも、局全体で二十名を越える未加入者の存在は許されません。JPUがスタートした今こそチャンスととらえ、組織拡大に全職場で全力でとりくみ、郵政本務者ベースの組織化を基本に組織率のアップを目指します。

(2)広範な郵政関係労働者の結集を目指すJPUは、非常勤職員の雇用と労働条件を守るために組織化を決定しました。組織化に伴って、多くの課題に直面することになります。最大の課題である雇用保証や本務者への道筋などの課題は、JPUは、制度改革の立法闘争などねばり強くとりくむことも決定しました。正規雇用を前提とした労働組合から複合型労働力構成に対応した組織と運動づくりは、労働運動全体の課題・社会的責任であると言えます。支部では、現場の認識合わせを進めながら、同時に、非常勤職員の皆さんの処遇改善やワークルールづくりを現場の声を踏まえて検討しつつ、組織化の体制づくりを行います。

(3)組織の総合力は、日常活動の反映でもあります。世話役活動をはじめ、機関紙配布やメーデーを初めとする各種大衆行動、共済活動等のきめこまかい活動が大切です。新年度においても、支部・分会の役員は、組合員の皆さんの理解と協力を得ながら、引き続き組織活動の基本となる日常活動を充実、活性化させて、組織の総合力を高めます。

(4)深夜勤務中心の交替制勤務となって、「皆が集まる」ことが難しくなっています。しかし、時代が大きく変化(変革)する今こそ、全体での認識合わせのための「支部オルグ」は重要なとりくみです。支部・分会で開催方法の検討を行います。組合員の皆さんの協力に

2004.8.18(水) 日刊新東京 No.3362

についても要請します。これからも組合員が「集まり」「語り合える」場は、支部・分会ともに大切にします。楽しい支部レク活動や、分会企画等の充実をはかりたいと考えますので、組合員の皆さんからの積極的な要望などを寄せてください。

支部青年部主催夏レク

# バーベキュー大会!

今年もバーベキュー大会を行います!!

(去年は雨天中止でしたが...)

深夜勤でお疲れの体を、みんなでワイワイ盛り上がり、お肉を沢山食べて疲れを吹き飛ばして下さい☺

日時 2004年8月29日(日)

11:00~15:00(予定)

場所 若洲海浜公園キャンプ場

会費 1000円(20歳以上)

(20歳未満は無料です)



申し込み 組合事務室の掲示板の紙に名前を記入して下さい。

★ 申し込みは...

★ 申し込みは

支部青 申し込みは 分会役員 マテ!

8/20(金)

日 刊	新東京	NO 3363	2004年 8月19日(木)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 第15回定期支部大会の議案を読む④

### Ⅲ 具体的なとりくみ

#### 一 組織部のとりくみ

(1) 支部の組織現状(七月一日付)は、全通七〇〇名(七〇・一%)、この一年間で八十五名減、組織率は、二・五ポイント低下させてしまいました。この一年間の組織増減は、新規加入者＝一名(一特)、再任用加入者＝二十四名、脱退者＝一名、退職者＝七十五名、再任用退職者＝二十九名、転出入者等の異動者はトータルで五名減、となっています。定年・勧奨による大量の退職者が出る構造が顕著になっています。組織率のアップを目標とした組織拡大が、たいへん不十分な結果となっていることについて、支部として率直に反省します。

(2) JPUが引き続き郵政労働運動の主軸を担うためにも、組織率の維持は最重要課題です。今年度は、支部七〇〇名台の組織維持と組織率アップを本気になってとりくみます。そのためにも組織拡大の先進的な支部との交流を検討します。全国大会で決定した非常勤職員の組織化については、支部組織対策会議等を開催しながら、体制確立をはかります。支部組織方針の基本は、職場の仲間がまず集まること、人間関係を大切にされた組織と運動づくりをすすめます。具体的なとりくみは、組織拡大方針として別途提起します。

#### 二 業対部のとりくみ

(1) 「勤務時間等見直し」施策実施後の問題点と課題について、支部・分会が一体となって、上部機関とも連携した改善・見直しに全力でとりくみます。また、各種効率化施策実施後の現状の業務運行について、検証を行い、改善を求めていきます。

(2) アクションプランやJPSの具体化により、仕事や働き方、労働条件面でも変化が伴います。また、公社は経営基盤強化に向けて「郵便ネットワークの再構築」「集配ネットワークの高度化に向けた試行」が検討されています。私たちの職場がどのような影響を受けることになるのか、検討を深めなければなりません。

うらへ ↓

(3) ゆうパックは、サービスアップ施策の展開によるシェア拡大(十月からの「リニューアル」施策)がはかられ、小型物流分野へ今後大胆にシフトしていくことが想定されます。構内増築棟における処理体制等を含めて、業務と労働条件の確保について早期に検討していかねばなりません。

(4) 年末年始繁忙は、深夜勤務中心の体制となって初めて迎えることとなります。江東区収集業務やスピードアップ施策等の対策、そして、本務者の要員減など昨年度との変化を踏まえつつ、早期の準備・対策を検討していきます。

(5) 業対活動の真価が問われています。新年度は、業対会議の内容充実、各種調査活動、学習会の開催等を含めて、各分会の協力を得ながら業対活動の活性化を目指します。また、本務者はもとより、再任用、非常勤職員の課題のアンケートなど工夫しながら現状把握に努め、上部機関・分会と連携して、問題点の解決に努力します。

## 参加者の皆さんへ

### 新東京支部青年部主催

### 『バーベキュー大会』のご案内

◎ 場所 → 若洲海浜公園キャンプ場

アクセス → (バスで来られる方)

- ・ 東陽町駅前発 10:29
- ・ 局前発 10:35
- ・ 新木場駅前発 10:41

(車で来られる方)

- ・ 料金は一回500円です。各自負担になります。
- ・ 新木場駅よりタクシーで1000円程度です。



日 刊	<b>新東京</b>	NO 3665	2004年8月23日(A)
		日本郵政公社労働組合 新東京支部 編集委員会	
		03-5690-2847	内線 4163

## 第15回定期支部大会の議案を読む⑤

### Ⅲ 具体的なとりくみ

#### 三 教宣部のとりくみ

(1)『日刊新東京』は、担当執行委員・支部青年部・専門委員を中心に発行してきました。パソコンによる日刊紙作成も定着してきましたが、新たに支部執行部全員を加えた体制に見直しました。今後も紙面内容の充実と豊富化や掲示板の活用も含めて、情報の共有化をはかる努力をします。

(2)昨年度は東京地本第六回サッカー大会において『FC新東京』（松木主将・二特）が優勝しました。二〇〇四年中部地区連絡会野球大会では、『東京パーセル』（目黒監督・三小包）が優勝し、東京地本第三十八回野球大会に駒を進めています。東京地本第八回ゴルフ大会では、長沢漸氏（一輪）がベストグロス賞を獲得しています。新東京支部第十五回ゴルフ大会は六月七日、プレジデントカントリー倶楽部に四十名が参加して盛大に開催し、大沢健司氏（一輪）が優勝しました。

(3)交替制勤務のため情報の共有化が難しい面があります。教宣部の活動が一層重要になったと認識して、活動にとりくみます。新年度からJPU新東京支部のホームページを試行的に立ち上げ、情報の共有化と活用を模索します。また、支部主催のレクについても、ゴルフ大会に加えて、組合員ニーズに応えた企画の実施を検討していくことにします。

#### 四 共済部のとりくみ

(1)組合員の世話役活動である共済活動に「多くの仲間が参加する」を基本に活動してきました。申請から給付にいたる事務処理等、順調に対応することができました。

(2)各種任意共済の加入状況は、火災共済（八〇・六％）、交通災害共済（七二・〇％）、生命共済（七一・三％）となっており、高水準を維持しています。年金共済（四三・一％）、医療共済（四・九％）の加入率アップが課題です。

(3) 支部共済会議の開催については、分会代表者会議等との連携で開催し意思疎通をはかってきました。さらに工夫したいと考えています。また、共済担当者の育成と発掘を追求します。

(4) 新年度の重点とりのみとして、十月より改定される「マイカー共済」の継続加入と新規加入にとりくみます。また、退職後の生活設計に関わる「年金共済」の加入促進活動をとります。

(5) 本年四月からは、ポストライフサービスセンターが全国実施されました。東京は試行期間を経ての全国実施ですが、日々の変わらぬとりにみに努め、充実した共済活動を進めて「助け合い」のとりにみを強化します。

## 五 青年部のとりにみ

(1) 昨年度は、レク活動と物資あっせんに力を入れることを目標に活動してきました。昨年度の夏レクの「バーベキュー大会」は、雨天のため残念ながら中止となりましたが、冬レクでは「大阪旅行」を十七名の参加で実施することが出来ました。

(2) 社会貢献活動として支部青年部からはじまった「プルタブ回収」運動は、今では東京地本青年部全体の運動として定着し、もうすぐ二台目の車椅子を寄贈できるところまでになりました。中央本部青年部でとりにんでいる「リサイクルブックエイド」(古本等の回収)にも積極的に参加します。プルタブ回収と合わせて、引き続き皆さんの協力を要請します。

(3) 支部青年部の組織状況は、新年度から五十一名となります。人数は少なくなりますが、支部青年委員会と分会青年部長が先頭に立ち、明るく楽しく、時にはまじめに青年部活動を展開していきます。来る八月二十九日(日)には、支部青年部主催で「バーベキュー大会」を実施します。多くの組合員・家族の皆さんの参加をお願いします。

# 本日！！ 第15回定期支部大会

JPU新東京支部として  
初めての大会となります

---

---

# 「どうせ休息时间なんて あたえなくてもいい！」

ある特殊課の職員が小包課に他課応援に行った時のことである…。

始業後すぐに他課応援で小包課に行き、シュートから落ちてくる小包をパレットに載せる作業を手伝っていたという。次から次に流れてくる小包を必死に載せていたという。

Aさんは、「疲れたな」と思っている。ふと時計を見るといつの間にか休息时间が過ぎていた。「あれ、何時までの応援なのかな？休息时间はどうしたのかな？」とAさんは疑問に思った。そこで、一緒に他課応援に来ていた

自課の某副課長に聞いたという…。

なんと、その某副課長は「応援は〇〇時まで！休息なんてあるの、どうせ休息时间なんてよ、いそがしい時は休息なんてあたえなくてもいいんだ！」と、ブツキラボウに、そして平然と答えたという。Aさんと応援者全員は、あ然としたが、指示に従いそのまま作業を続けていたという。

ブットウシで2時間30分の作業！

腰痛患者を増やしたいのか！この某副課長は、職員の休憩

・休息の時間を把握していないのか？(なぜか立ち上がりだけはチェックしているというのだが…)

まあ、真相はわからないが、もしも、休憩時間や休息時間を超えて働くことが良いことだ、美德だ、事業に貢献しているんだ、と現場の管理者が考えていたのであれば即刻退場を願う！しごとというのは、労使のお互いの信頼関係が築かれなければうまくいかない。命令と服従の関係だけでうまくいくと思っ

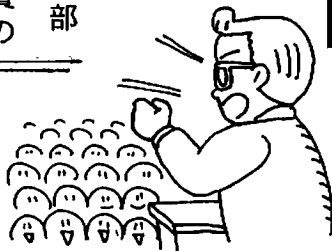
ているのか！と言いたい。  
郵政公社になったといえども、こんなに立派な管理者殿がいるのですね。おどろきました。

もし、勘違いだ！というならば素直に謝りましょうね。まちがいはだれにでもあるのだから…



## 第15回定期支部大会

### 開催される！



8月23日、五階大会議において第15回定期支部大会が開催されました。当日は東京地本・小川委員長をはじめとする来賓の方々が多数お見えになりました。大会議長に二普分会の隈元代議員、副議長に二特分会の星名代議員が選出されました。

〈 秋山支部長、挨拶 〉

郵政民営化について、根本

的な問題を置き去りにして議論が進んでいる。全郵政とも協議して取り組んでいる。上部機関で分析し指導がなされ

るであろうが組合員の協力を  
お願いします。

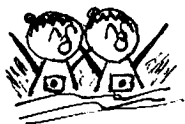
深夜勤について、組合員の健康状態に不安が広がっている。全国大会で発言し全国に新東京の実態を訴えかけた。

郵便ネットワーク、ゆうパ  
ックのリニューアルなど当面  
の課題に尽力したい。

組織拡大について、支部の指  
導力不足を認識している。皆  
さんも重く受け止めて頂き  
たい。また、全国大会では、非  
常勤の組織化も決定した。

日常活動について、情報の  
共有化がなされているか、も  
う一度各分会の点検をお願い  
したい。情報不足により活動  
が滞ることがあってはならな  
い。

裏面は...  
小川委員長の  
あいさつです!



〈小川委員長、挨拶〉

区切りの大会おめでとうございます。

民営化動向について、連日メディアでの報道がなされている。一部の論議で決められてはならない。世論を味方につける必要があり、今後各種行動が提起される。

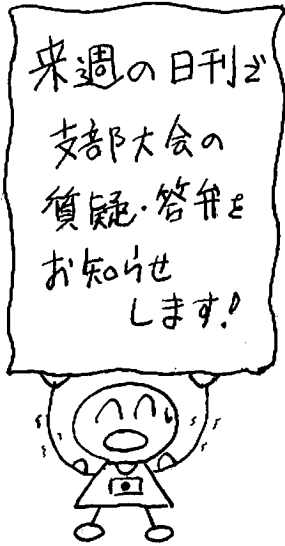
諸外国でも民営化されているが、日本と違い様々な保証がされている。

ドイツポストは民営化され規模が3分の2に縮小された。組合員とその家族を守るため修正・撤廃を図らなければならぬ。

基盤強化・効率化施策について、改革のスピードが速すぎて現場が着いていけない部分が見受けられる。

組織拡大について、新東京にはまだまだがんばって頂きたい。工夫して頂きたい。

組織財政の改革がなされ、地本の専従も7名に減少した。新東京も工夫し効率的に活動を行って頂きたい。



【ご来賓】

〈J P U 東京地方本部〉

小川 地本委員長

佐久間 執行委員

中口 前執行委員

〈J P U 東京中郵支部〉

中野 組織部長

〈J P U 東京日通支部〉

八木 支部長

〈ポストライフ〉

小野寺 地方部長

〈郵政弘済会〉

有井 次長

【レタックス】

J P U 東京中部支部

J P U 大島支部

## 第十五回定期支部大会 『一号議案質疑答弁』

### 深夜勤問題に議論が集中！

#### 二特

深夜勤問題について、深夜勤に関するアンケートを取り組みました。導入後、固定勤務者が増えたことに対して調査などを行うべき。

#### 三特

- ①配達記録の有証扱いになったことに関して要員措置はあるのか？
- ②深夜勤に関して、健康面での理由で固定勤務者が増えた。
- ③服務表に関して不具合のある箇所が

ある。

#### 窓口

すべての面で要員が足りない

- ①深夜勤アンケートを実施しました。
- ②要員が足りないので、100%休憩  
休息が時間とおりに取れていない。  
サービス残業も常時発生している。  
また、冊子小包について、差し出し票の扱いに手間がかかる。また、冊子小包の中に信書も混入している。
- ③年休などで休むと『他の人のことも

考えろ』と言われた。

- ④クレーラーの強化を！

#### 一特

- ①書留処理見直し、収集など新施策により業務が輻輳している。要員配置についてはどう考えているのか？
- ②深夜勤について、体調を崩す人が増えている。業務実体に沿った要員配置について。
- ③給与制度改革について、評価制度などの総括はどうなのか？
- ④ゆうメイトの処遇改善について。
- ⑤固定勤務者の処遇について。

#### 二小

- ①年末の分室はどうなっているのか？
- ②夜勤↓中勤↓日勤と指定されるが、他の分室はどうなのか？

#### 二普

- ①深夜勤について、非常勤の処遇改善も含めた取り組みを。服務表の早期改正を。
- ②JPSについて、テープを貼れば改善なのか。
- ③冊子小包について、管理者が総動員

で処理しているのが現状。

④ パケット区分機の故障も頻繁に起こるようになった。

⑤ ネットワークの再構築について、情報は分かり次第早く流すように。

⑥ 評価制度について、きちんと評価されていらないのでは？また、ゆうメイトの評価についてAランクが誰にもつかない制度はおかしい。

⑦ 組合員の集まりが行いにくくなった。

⑧ ロッカー点検について、女性職員のロッカーをニヤニヤしながら点検している男性管理者がいてとても不快感を感じた。これはセクハラではないのか。

### 三小

① ローソンや他業種との提携など、小包に関連する様々な施策が行われている。現在、小包関係職場は要員が、絶対的に不足している。地域区分局として余裕のある要員配置が適正ではないのか。

② 評価制度について、管理者の評価基準が曖昧。

### 一普

① 深夜勤について、深夜1と深夜2の配置比率が均等になり勤務と勤務間の時間が確保されて良くなった。

② 新施策が次々に導入されて、ついていけない。

③ 夜勤が増えすぎた。土日は必要ないのでは？

④ 評価制度について、対象者になかなか会えない。

⑤ 服務改正により年末繁忙の要員配置はどうなるのか。

⑥ 設備の老朽化が目立つ。

⑦ 深夜勤の導入により家族団欒の時間が激減した。

### 二輪

評価制度について、対象外の人の苦情処理は？

### 一輪

① 作業に従事しないことまで、評価対象の項目に入っているのはおかしい。評価制度の改正はいつ行われるのか。

### 支部答弁

① 支部としては今日出された皆さんの意見については受け止めて対応していく。

② 個別の課題について、分会と連携しながら解決の努力をしていきたい。

③ 分会での対応、支部での対応、地本への要請を考えながら第一回執行委員会で検討する。

④ 深夜勤については、廃止の気持ちはわかるが、下げられた条件をそのままにして廃止とは言えない。様々な条件を考えて下げられた条件を回復させる取り組みをして行く。

この問題については、新東京から東京全体、そして全国に問題提起を広げて行く努力が求められる。

# 新東京

NO 3671

2004年  
8月31日(火)

J P U  
新東京支部  
編集委員会

03-5690-2847  
内線 4163

## 台風のばかやろー！

### 青年部、次回に期待！

8月29日(日)、青年部主催の若洲バーベキュー大会が予定されていましたが、台風の影響でやむなく中止となってしまいました。記憶している方もいると思いますが、昨年のバーベキュー大会も雨で中止、今年の5月のまちき

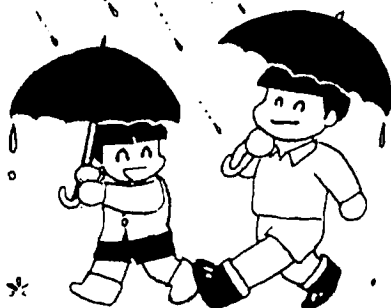
れ運動も雨で中止、6月に開催した支部ゴルフ大会も雨(決行しましたが大)。雨に祟られている新東京支部：というのは冗談としても、こう雨で中止が続くと支部としても考え物です。なにか、家族で楽しめ



えーん？  
ちゅーしは  
やだよあーん？

る企画を検討したいと思  
います。  
何かおもしろそうな企  
画がありましたら、ぜひ  
支部まで教えて頂きたい  
と思います。  
次回、快晴の下でみんなの笑顔が見られるレク  
が開催できることを祈願  
しつつ...

あぬおとこは、  
だれた〜！  
なんてね...



裏面に第15回支部大会の  
大会アピールを掲載！

# 大会アピール

私たちは、北海道・旭川市において開催した第59回定期全国大会から「日本郵政公社労働組合（JPU）」として新たな歴史を歩みはじめた。今、私たちの事業と雇用、労働条件は、時代が激しい速さで大きく変化・変革する渦中にある。名称が変更しても、組合員の雇用と労働条件を守るという労働組合の本来の任務に変わりはない。

全国の仲間たちがJPUの旗の下で、公社時代における郵政労働運動の構築と広範な郵政関係労働者の結集を目指しての未来づくりへの挑戦がはじまっている。本日、第15回定期支部大会を開催し、私たちJPU新東京も未来づくりの具体的な第一歩を踏み出すことになる。大会では、改めて運動の基軸は、支部・分会、職場にあることを再確認した。これからも、職場組合員の理解と協力を得て、支部・分会機能と活動の活性化に情熱を持って全力をあげることを確認し合った。

小泉政権は、「誰のための」「何のための」郵政民営化なのか、目的や理念を示すこともなく「民営化ありき」の議論を進めている。上部機関の指導に基づき、情勢や政治動向の認識をしっかりと一致させ、「労組政策協議会」を軸に部内の力を結集し、民営化問題への対応に万全を期さなければならない。国民の共有財産である郵政事業と雇用を守り抜く決意をここに明かにするものである。

大会では、今の私たちの職場の現状を踏まえた、多くの活発な意見が出された。「勤務時間等見直し」施策実施後の問題点と課題については、引き下げた労働条件は、回復させていくとの決意を込めて、支部・分会が一体となって、上部機関とも連携した改善・見直しに全力をあげることを決定した。私たちは、全国の仲間の汗と努力で維持している郵便ネットワークの最重要拠点で働く自覚と強い使命感を持って、日々の業務確保に努力をしている。「安定した業務運行と品質管理」は生命線である。支部・分会の業対活動を強化し、実際の仕事を通じた具体的な業務に対する提言を積極的に提起していくことについても確認した。

事業と雇用のかつてない正念場を迎えようとしている今、私たちJPUとともに歩む仲間の総結集を力強く呼びかけるものである。労働組合の基本である「皆が集まり」「ともに語り合い」「決めたことは皆で実践する」ということを大切にしながら、力強い運動を推進していくことをここに宣言する。

2004年8月23日

日本郵政公社労働組合  
新東京郵便局支部  
第15回定期支部大会